平成23年第3回
美唄市議会臨時会会議録
平成23年8月1日(月曜日)
午前10時00分 開会

13番 土井敏興君

議事日程

- 第1 議席変更の件
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 会期決定の件
- 第4 諸般報告
- 第5 議長報告
- 第6 市長就任の宣誓
- 第7 市政報告
- 第8 所信表明
- 第9 議案第44号 美唄市議会委員会条例の一部改正の件
- 第10 議会運営委員会委員選任の件
- 第11 議案第45号 平成23年度美唄市一般会計補正予算(第3号)

出席議員(14名)

議長	内馬場	克康	君
副議長	小関	勝教	君
1番	倉本	賢	君
2番	長谷川	吉春	君
3番	谷村	知重	君
4番	丸山	文靖	君
5番	本郷	幸治	君
6番	森川	明	君
7番	吉岡	文子	君
8番	桜井	龍雄	君
9番	金子	義彦	君
10番	高田	正則	君
11番	五十嵐	聡	君

出席説明員

市長	高橋	幹夫	君
総務部長	伊藤	敦史	君
市民部長	藤井	英昭	君
保健福祉部長兼福祉事務所長	中川	直紀	君
商工交流部長	市川	厚記	君
農政部長	須田	正毅	君
都市整備部長	山口	隆慶	君
市立美唄病院事務局長	高倉	雄治	君
消防長	霜田	公法	君
総務部総務課長	佐藤	崇	君
総務部総務課主査	平野	太一	君

教育委員会委員長	白戸	仁康	君
教育委員会教育長	安田	昌彰	君
教育委員会教育部長	奥山	隆司	君

選挙管理委員会委員長	後藤	泰彦	君
選挙管理委員会事務局長	秋場	勝義	君

農業委員会会長	西川	芳勝	君
農業委員会事務局長	吉田	寿幸	君

監査委員	扇谷	均	君
監査事務局長	鎌田	覚	君

事務局職員出席者

事務局次長	中平	匡司	君
	三上	忠	君

午前10時00分 開会
議長内馬場克康君 ただいまより、本日を

もって招集されました平成23年第3回美咲市議会臨時会を開会いたします。

議長内馬場克康君 これより本日の会議を開きます。

この場合、農業委員会会長から発言を求められておりますので、これを許します。

農業委員会会長。

農業委員会会長西川芳勝君（登壇） 発言の機会をいただきましてありがとうございます。お許しをいただきましたので、一言ごあいさつ申し上げます。

私、7月25日の農業委員会総会におきまして、農業委員会会長に就任いたしました、西川でございます。微力ではございますが、精一杯職務に取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

議長内馬場克康君 これより日程の第1、議席変更の件を議題といたします。

議会構成の変更に伴い、議席を変更いたしたいと思いをします。

お諮りいたします。

変更する議席番号及び氏名については、

1番倉本賢議員、2番長谷川吉春議員、4番丸山文靖議員、5番本郷幸治議員、6番森川明議員、7番吉岡文字子議員、8番桜井龍雄議員、9番金子義彦議員、10番高田正則議員に、それぞれ変更いたしたいと思いをします。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

議長内馬場克康君 次に日程の第2、会議録署名議員を指名いたします。

1番 倉本賢議員

2番 長谷川吉春議員

を指名いたします。

議長内馬場克康君 次に日程の第3、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日より8月5日までの5日間とし、うち8月2日及び8月4日を休会といたしたいと思いをします。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

議長内馬場克康君 次に日程の第4、諸般報告に入ります。

諸般報告については朗読を省略いたします。

諸般報告についてご質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって諸般報告を終わります。

議長内馬場克康君 次に日程の第5、議長報告に入ります。

議長報告についても朗読を省略いたします。

議長報告についてご質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって議長報告を終わります。

議長内馬場克康君 次に日程の第6、市長就任の宣誓に入ります。

市長。

市長高橋幹夫君（登壇） 市長就任に当たり、美唄市まちづくり基本条例第18条第1項の規定に基づき、宣誓を行います。

宣誓。私は市民の信託を受けた市長として、その重責を深く認識し、主権が国民であることを定めた日本国憲法を尊重すると共に、美唄市まちづくり基本条例及び美唄市長の政治倫理に関する条例を遵守し、地方自治の推進と市民福祉増進のため、公平・公正かつ誠実に職務を遂行することをここに誓います。

平成23年8月1日。美唄市長高橋幹夫。
どうぞよろしく願いいたします。

議長内馬場克康君 次に日程の第7、市政報告に入ります。

市長。

市長高橋幹夫君（登壇） 平成23年第3回市議会臨時会に当たり市政の主なものについて、ご報告申し上げます。

去る4月8日に発生いたしました美唄市沼の内排水機場における重油流出事故につきまして、5月17日の第2回市議会臨時会の市政報告以降の処理状況について申し上げます。

5月24日から6月10日まで汚染土壌の浄化処理作業を実施し、その後、6月16日付で水質汚濁防止法に基づく北海道知事への浄化処理終了の報告を行い、6月29日付けで空知総合振興局の確認が終了いたしました。

重油の流出量につきましては、当初、約480リットルと見込まれておりましたが、浄化作業の専門業者による汚染土壌の浄化処理調査の結果、20リットルないし30リットル程度と推計いたしました。

また、重油流出の事故原因につきましては、調査の結果、重油タンクからの埋設配管の曲管接続部分の経年劣化による腐食箇所から重油が漏洩したものと、市として判断したところでございます。

市民の皆様方には、御迷惑をおかけしましたことを、改めておわび申し上げます。

今後は、沼の内を含め上美唄、開発、茶志内の各排水機場の巡回・点検を引き続き実施するほか、配管の更新を順次行うなど、万全を期してまいります。

なお、去る2月17日に発生いたしました美唄市米穀乾燥調製施設における灯油流出事故につきましては、現在、掘削した土壌の浄化処理作業を実施中であり、終了後、北海道知事への報告及び確認をもって浄化処理対策は完了する予定でございます。

以上、申し上げます報告を終わります。

議長内馬場克康君 市政報告に対する質疑通告集約のため暫時休憩いたします。

午前10時06分 休憩

午前10時07分 開議

議長内馬場克康君 休憩前に引き続き会議を開きます。

本件については、別にご発言もないようですので、これをもって市政報告を終わります。

議長内馬場克康君 次に日程の第8、所信表明に入ります。

市長。

市長高橋幹夫君（登壇） 平成23年第3回市議会臨時会に当たり、市長就任のご挨拶

と市政執行についての所信を述べさせていただきます。

私は、このたびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆さんのご支援をいただき、市政を担当させていただくことになりました。

ご支援をいただきました皆様方に、心から感謝を申し上げますとともに、改めて、責任の重さに身の引き締まる思いをしているところでございます。

初めに、私の市政に対します基本姿勢について申し上げます。

ご承知のとおり、選挙の結果は、これまでにない僅差でございました。この結果には、市民の皆様方のいろいろな思いが込められており、大変、重たいものと受けとめております。

このため、これからの4年間は、この重さを忘れることなく、常に緊張感をもって、「ふるさと美唄」の再生のために、企業経営で培った行動力と決断力をもって、全力で取り組んでいく決意であります。

本市は現在、人口減少や少子高齢化、さらには地域医療のあり方や地域経済の振興など、多くの課題がありますが、私は、これまでのまちづくりに携わってきた経験を生かし、何とか「ふるさと美唄」を再生し、未来の子どもたちが自慢できる、そんなまちにしたいと思っております。

そのためには、課題解決に向けたいろいろな可能性を求めて、一つひとつ形の見えるまちづくりを進めることによって、美唄は変わっていくものと信じております。

これらの直面している多くの課題は、これまでも社会経済状況の変化に応じて、議会や

多くの市民の方々と議論を重ねてきたところでもあります。

今後におきましては、これまでの議論を踏まえ、前例や慣習にとらわれることなく、市民の皆様と情報を共有しながら、課題解決に向けた具体的な方向性を示していきたいと考えております。

このため、私は市民の皆様にとって、また、地域にとって何が課題で、何が必要なのか、市民の皆様の声をしっかり受けとめることから始めたいと考えております。

また、本年3月に発生いたしました東日本大震災により、来年度以降の財政運営にも少なからず影響を及ぼすのではないかと危惧をしておりますが、今後におきましても、国や道としっかり連携を図っていかなければならないと考えております。

近隣の自治体と共有する課題につきましても、広域的な連携も視野に入れながら、課題解決に向け、自治体間の連携も図ってまいります。

私は、以上のような基本姿勢のもとに、本市の発展のため、多くの市民の皆様方の知恵と力をいただきながら、全力で取り組んでまいります。

次に、私の考えているまちづくりの方向について申し上げます。

私は、本市の第6期総合計画である「びばい未来交響プラン」に基づき、まちづくりを進めていくことを基本に考えておりますが、先ほども申し上げましたように、この度の大震災により、地方財政への影響が懸念されますので、前期基本計画における事業実施におきましては、国や道の動向を見極めながら、

その時々状況に応じた対応をしていかなければならないと考えております。

その中でも特に、2つの目標と6つの重点を掲げ、取り組んでまいります。

目標の1つは、元気な人づくりであります。

まちの輝きは人の輝きだと思っております。

市民の皆様方、1人ひとりが元気に輝くまちづくりを進めてまいります。

そのための重点の1つ目は、人にやさしい健康で元気なまちづくりであります。

市民の皆様方が生活する上で、健康で安心して暮らせるまちづくりは、大変重要なことであると考えております。

本市においては、少子高齢化が進む中、子育て支援や高齢者福祉に積極的に取り組んできており、今後におきましても、継承していきたいと考えております。

特に、子育て支援につきましては、市内の西地区におきまして、子育て支援センター「はみんぐ」をはじめ、道営住宅「であえーる中央公園団地」においても、取り組みを進めることになっておりますが、全道子育て支援モデル地区として、市内東地区にも同様の施設が必要ではないかと考えており、その設置に向けて、しっかりと子育て支援体制の充実を図ってまいりたいと考えております。

また、誰もが健康で生きがいをもって暮らしていけるよう、文化やスポーツ、健康づくりなどに積極的に取り組むことができる環境づくりを進めてまいります。

さらに、高齢者や障がい者の方をはじめ、市民の皆様が抱えているさまざまな悩みや不安に対して、スピーディーな対応ができるよう、総合的な相談窓口の設置に向け検討し、

市民サービスの充実と福祉の向上に努めてまいります。

重点の2つ目は、市民との協働による人づくり・地域づくりであります。

健康で生きがいをもって暮らしていくことは、市民の皆さん誰もが願うことであります。

それには、文化やスポーツ、健康づくりなど、多岐にわたっておりますが、今後はさらに、市民の皆様の学習の場として、道央圏の大学と連携した、人づくりの拠点となる「サテライトキャンパス」の開設に向けて取り組んでまいります。

また、循環型社会を迎え、環境に与える負荷を少なくし、豊かな自然環境を保全し、後世に引き継いでいくことも大切なことだと考えております。

このため、世界的に貴重な宮島沼や市内に存在する豊かな自然環境を保全していくことはもとより、地域資源を活用する循環型社会の構築を目指したごみ処理方法など、市民の皆さんと一緒に考え、取り組んでまいりたいと考えております。

また、未来を担う子どもたちが、健やかに伸び伸びと育つよう、家庭や学校、地域との連携を図りつつ、学力と体力の向上に努めてまいります。このように、子どもたちと地域の大人が一緒に取り組むことで、地域の元気づくりにもつなげてまいります。

重点の3つ目は、安全・安心の推進であります。

まちづくりを進めていく上で、何よりも優先しなければならないのは、市民の皆様の安全の確保であります。

このたびの大震災では、未曾有の被害をこ

うむり、多くの貴重な命が奪われました。

私は、市長就任以来、災害時の被害を最小限に食い止めるための対策を、これまで以上に講じなければならないとの思いが日に日に強くなってきております。

そのため、市役所の中に、防災などの危機管理を専門に行う部署を設け、市民の皆様の自主的な行動と連携を図りながら、さまざまな災害や事故などに備えていきたいと考えております。

また、市民の皆様が健康で安心して暮らしていくためには、市立美唄病院をはじめとする本市の地域医療をどうするのか、このことが最も大きな課題であります。

そこで、市立美唄病院の今後のあり方を含めた地域医療全体をどのようにしていくかを検討するため、医師会の皆様をはじめ、関係者の方々と協議の場を設け、市としての方向性を早急に検討してまいりたいと考えております。

次に、目標の2つ目は、元気なまちづくりであります。

産業の振興と雇用の創出、さらに、交流の拡大による元気なまちづくりを進めてまいります。

そのための重点の1つ目は、本市の基幹産業である農業の振興であります。

本市農業を発展させるための農地の基盤整備については、良質な農産物の生産性の向上、さらには効率的な生産基盤の充実を図る上で必要不可欠なものであります。

このため、引き続き、国営農地再編整備事業の確実な事業実施に向け、国に対しても強く要請をしてまいりますとともに、道営によ

る基盤整備につきましても、地域の要望を踏まえ、道に対して要請活動を続けてまいります。

また、食糧備蓄基地構想の推進につきましては、これまでも、商工会議所をはじめとする関係団体等とともに、その必要性について国に訴えてきたところでありますが、このたびの大震災により、災害時における食糧備蓄の必要性は広く認識されつつあります。

このため、食糧備蓄施設の立地に向けましては、内陸部で冷涼な気候にあり、雪氷エネルギー活用技術の実績がある本市の優位性をアピールしながら、今後も引き続き、国に対して積極的に要請をしてまいります。

また、TPPやEPAに関しては、農業経営の安定化や農業後継者の皆様方が活力と魅力を持って農業に取り組んでもらうために、私は、国が農業を守る新たな施策を講じない限り、引き続き、反対の立場を堅持してまいります。

重点の2つ目は、農商工連携による地域経済の活性化であります。

これまでも、本市の安全・安心で良質な農作物を素材とした米粉やハスカップなどを使った新製品も生まれ、本市の特産品として市内外に好評を得ているところであります。

このため、今後はさらに、産業間や産学間の連携により、特産品の新規開発や販路拡大に努め、経済振興と雇用の創出につなげてまいりたいと考えております。

また、農産物や特産品販売のネットワーク化を図り、豊かな自然や景観を生かした、新たな観光ルートの開発などにより、交流人口の増加を図るとともに、美唄ブランドの食に

こだわったまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

重点の3つ目は、国や道との連携強化であります。

本市は現在、市民の皆様のご理解とご協力をいただき、市立美唄病院の多額の累積赤字の解消を含めた財政健全化に取り組んでいるところであり、大変厳しい財政状況にあると認識しております。

しかしながら、一方で、厳しい状況にあっても、将来への希望が持てる、まちの活性化に取り組んでいくことも大切なことでもあります。

そのためには、本市が抱えている多くの課題を1日でも早く解決することが重要ですが、課題の中には、本市だけでは解決できない課題も数多くありますので、今後も引き続き、国や道との連携を図りながら、市民サービスの向上につながるよう努めてまいりたいと考えております。

ただいま申し上げました、まちづくりの方向を具体化するため、地域経営という観点から、情報収集と施策づくりの仕組みとして、新たに3つのことに取り組んでまいりたいと考えております。

その1つ目は、これまでの市の最終的な意思決定の場である庁議を「経営会議」と位置づけることでもあります。

この「経営会議」では、各部の業務の進捗状況のほか、市民や地域の皆様からの要望や苦情などを集約し、市民生活や地域の現状を常に把握し、情報の共有をしながら、課題解決に向けたアイデアを出し合う仕組みにしていきたいと考えております。

その2つ目は、多様化する社会変化の中で、持続可能なまちづくりを柔軟かつ迅速に進めていくためには、国をはじめ道や関係機関・団体等からの情報収集は必要不可欠であると考えておりますので、まちづくりに関する情報を一括管理する部署の設置も検討していきたいと考えております。

その3つ目は、主として民間の動きを的確に把握し、まちづくりに反映させるため、企業や金融機関等の皆様にご参加をいただき、仮称「地域経済円卓会議」を設置したいと考えております。

これまで、北海道全体や札幌圏の経済状況につきましては、日銀札幌支店や北海道経済産業局のレポートなどで、ある程度の状況は把握できますが、美唄市内の経済や雇用の状況などは、なかなか把握することが難しいことから、「地域経済円卓会議」でいただいた情報やご意見などを参考にしながら、今後のまちづくりに活かしていきたいと考えております。

以上、市長就任のごあいさつと、今後の市政執行に関する所信の一端を申し上げましたが、私のまちづくりの基本は、市民の皆様との信頼関係を築き、情報や問題意識を共有し、正面から向き合いながら、一緒に取り組んでいくことであり、そのことが何よりも大切ではないかと考えております。

これからの道のりは、決して楽な道のりではありませんが、職員と一致団結して、「ふるさと美唄」の再生のために全力で頑張りたいと思いますので、市議会議員の皆様、市民の皆様のご指導、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。所信表明とさせていただきます。

ただきます。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

議長内馬場克康君 次に日程の第9、議案第44号美唄市議会委員会条例の一部改正の件を議題といたします。

本件に関し、提案理由の説明を求めます。

11番、五十嵐聡議員。

11番五十嵐聡議員（登壇） ただいま議題となりました議案第44号美唄市議会委員会条例の一部改正の件について、提案理由をご説明申し上げます。

本件は、議会構成の変更に伴い、委員会条例第4条第2項中、5人と規定している議会運営委員会の委員定数を6人に改めるものであります。

以上、よろしくご審議をお願い申し上げます。

議長内馬場克康君 これより議案第44号について、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

本件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第44号美唄市議会委員会条例の一部改正の件は、原案のとおり可決されました。

議長内馬場克康君 次に日程の第10、議会運営委員会委員選任の件を議題といたします。

議会運営委員会の委員定数が1名増員となりましたので、その委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、議長において指名いたします。

議会運営委員会委員に、土井敏興議員を指名いたします。

議長内馬場克康君 次に日程の第11、議案第45号平成23年度美唄市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

本件に関し、提案理由の説明を求めます。

市長。

市長高橋幹夫君（登壇） ただいま上程されました議案第45号平成23年度美唄市一般会計補正予算（第3号）につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

本件は、第1条歳入歳出予算について補正しようとするもので、歳入歳出予算の総額に、それぞれ5,056万8,000円を増額補正し、補正後の予算総額を161億3,864万7,000円にしようとするものであります。

補正内容につきましては、歳出から申し上げますと、総務費に、旧美唄情報処理技術者養成施設の外壁の老朽化が著しいことから、施設を適正に維持管理するために外壁を修繕する「公有財産整備事業」を計上いたしました。

一方、歳入につきましては、歳出計上額に対応する国庫支出金を増額補正し、財源対応

をいたしました。

よろしくご審議をお願い申し上げます。

議長内馬場克康君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明がありました議案第45号については、大綱質疑にとどめ、後ほど設置いたします特別委員会に付託の上、審査することにいたしたいと思ひます。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

これより議案第45号について、大綱質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって、大綱質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第45号については、13人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思ひます。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

ただいま設置されました予算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、議長において指名いたします。

予算審査特別委員会委員に、
倉本賢議員、長谷川吉春議員、
谷村知重議員、丸山文靖議員、
本郷幸治議員、森川明議員、
吉岡文子議員、桜井龍雄議員、
金子義彦議員、高田正則議員、

五十嵐聡議員、小関勝教議員、
土井敏興議員の以上13人の議員を指名いたします。

議長内馬場克康君 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

午前10時29分 散会